

FUJITSU Thin Client FUTRO

FUTRO S7011

BIOS セットアップメニュー 一覧

AMD、AMD Arrow ロゴ ならびにこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.2)	BIOSや製品本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語を設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。 また、イベントログに関する設定を行います。
セキュリティ (→P.5)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.7)	停電復旧時の動作や、Wake on LAN 機能などを設定します。
起動 (→P.8)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.8)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目
システム	システム時刻
	システム日付
	言語 (Language)
	ポインティングデバイスサポート
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定
終了	変更を保存して終了する
	変更を保存せずに終了する
	変更を保存する
	変更を保存して電源を切る

情報メニュー

BIOSや製品本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
製造番号	
BIOS版数	
ベースボード製品	
ベースボード製造番号	
カスタムメイド番号	
アクセスレベル	BIOSセットアップを管理者用パスワードで起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードで起動した場合は「ユーザー」と表示される
CPUタイプ	
全メモリ容量/動作周波数	
メモリスロット CHA1	
メモリスロット CHB2	
MACアドレス	
バススルー MACアドレス	
UUID	
Open Source Software License Information	
Copyright FUJITSU CLIENT COMPUTION LIMITED YYYY	著作権表示

システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00:00:00~23:59:59	・【Tab】キー／【Enter】キー…右の項目に移動 ・【Shift】+【Tab】キー…左の項目に移動 ・数字キーで入力
システム日付 2000/01/01~2099/12/31	・【Tab】キー／【Enter】キー…右の項目に移動 ・【Shift】+【Tab】キー…左の項目に移動 ・数字キーで入力 ・Windows 10では、OSが自動的に変更する場合があります
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	
キーボードレイアウト □英語 □スペイン語 □フランス語 □ブラジル語 □オランダ語 □ドイツ語 □イタリア語 □スウェーデン語 □デンマーク語 □フィンランド語 □ノルウェー語 □ロシア語 ■日本語 □韓国語 □中国語	BIOSパスワードを設定している場合は設定不可
ポインティングデバイスサポート □使用しない ■使用する	

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動設定	
強制ネットワーク起動 ■使用しない □使用する	
ネットワーク起動 □使用しない ■使用する	
IPv4環境でのネットワーク起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ネットワークスタック」が「使用する」 ※注3
IPv6環境でのネットワーク起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ネットワークスタック」が「使用する」 ※注3
起動エラー時の動作 □起動を続ける ■キー押下まで待つ	※注2
キーボードエラー検出 □使用しない ■使用する	
ドライブ設定	
SMART診断 ■使用しない □使用する	
ドライブ0 □使用しない ■使用する	接続されているデバイス名、およびディスク容量（接続されているデバイスがストレージの場合）が表示される
キーボード設定	
起動時のNumLock設定 ■オン □オフ	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
シリアルポート設定	
シリアルポート □使用しない ■使用する	
I/Oアドレスと割り込み ■3F8/IRQ4 □2F8/IRQ3 □3E8/IRQ4 □2E8/IRQ3	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「シリアルポート」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
その他の内蔵デバイス設定	
Audioコントローラー □使用しない ■使用する	
内蔵LANデバイス □使用しない ■使用する	
無線LAN / Bluetooth(R) □使用しない ■使用する	無線LAN / Bluetooth搭載機種のみ表示
CPU設定	
AMD-V(TM) □使用しない ■使用する	
USB設定	
USBポート □使用しない ■使用する	
前面 □使用しない ■使用する	
USB C □使用しない ■使用する	
USB A □使用しない ■使用する	
背面 □使用しない ■使用する	
USB C □使用しない ■使用する	
Alt+P対応USB A □使用しない ■使用する	
USB A □使用しない ■使用する	
各種設定	
MACアドレスバススルー ■使用しない □使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
System Management	
温度	
CPU	温度センサー（CPU）の現在の状態
Core	温度センサー（Core）の現在の状態
M.2	温度センサー（M.2）の現在の状態
SSD	温度センサー（SSD）の現在の状態
Memory	温度センサー（Memory）の現在の状態
Graphics	温度センサー（Graphics）の現在の状態
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 >Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「イベントログを確認する」を参照
イベントログ □保存しない ■保存する	
イベントログの消去 ■いいえ □次回起動時に消去します	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「イベントログ」が「保存する」 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「イベントログを消去する」を参照
イベントログフル ■何もしない □すぐに消去する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「イベントログ」が「保存する」
イベントログのマーク >Enter	現在までのイベントログを既読に設定し、以降表示されないようにする
Realtek PCIe GBE Family Controller	オンボードLANデバイスのオプションROMに関するサブメニュー ※注1

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

注2：本設定を「起動を続ける」に設定しても、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。

注3：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

セキュリティメニュー

選択肢 初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 >Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定 >Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード文字数 3～32（初期値：4）	・「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ・ユーザー用パスワードの設定可能文字数（3～32）を設定
起動時のパスワード入力 <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 最初のみ <input type="checkbox"/> 毎回	・「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ・使用しない…本製品の起動時に、パスワード入力の要求なし ・最初のみ…本製品の電源を入れたときのみ、パスワード入力を要求 ・毎回…本製品の起動時ごとに、パスワード入力を要求 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
自動ウェイクアップ時 <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	・LAN／タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」 ・使用しない…自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力を要求なし ・使用する…自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力の要求 ・ハードディスクパスワードの入力スキップは不可
取外し可能なディスクからの起動制限 <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	・「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ・使用しない…全てのユーザーが取外し可能なディスクから起動可能 ・使用する…管理者だけが取外し可能なディスクから起動可能
システムファームウェア更新機能 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用する（制限付き）	※注1
デバイスファームウェア更新機能 <input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用する（制限付き）	
起動メニュー <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 毎回表示する	

選択肢 初期値

設定項目	備考
システムファームウェアロールバック <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	
ハードディスクセキュリティ	
ドライブ0用パスワード	設定状況を表示
ドライブ0用パスワード設定	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
所有者情報	
所有者情報	設定状況を表示
所有者情報設定 >Enter	
TPM（セキュリティチップ）設定	
セキュリティチップデバイス AMD fTPM	
ファームウェア版数	
ベンダー	
セキュリティチップ <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	設定変更は再起動後に有効
TPM状態の変更内容 <input checked="" type="checkbox"/> 変更しない <input type="checkbox"/> クリアする	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「セキュリティチップ」が「使用する」 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「セキュリティチップの設定を変更する」を参照
セキュアブート設定	
セキュアブート	・設定状態を表示 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時は「有効」、「使用しない」時は「無効」と表示される
署名情報の保護	・設定状態を表示 ・「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」と表示される
署名情報の状態	・設定状態を表示 ・「標準」または「カスタム」と表示される
セキュアブート機能 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	

選択肢 初期値

設定項目	備考
署名情報設定 <input checked="" type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> カスタム	
署名情報の管理	
署名情報の初期化 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
署名情報の初期化	下記の項目が次のように設定されているときに表示/設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」 ◆「署名情報の初期化」が「使用する」
署名情報の削除	下記の項目が次のように設定されているときに表示/設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」 ◆「署名情報の初期化」が「使用しない」
キーの保存	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Device Guard Ready	
3rd-party UEFI CA <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Restore DB defaults	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Secure Boot variable	
Platform Key(PK)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

選択肢 初期値

設定項目	備考
Key Exchange Key	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized Signatures	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Forbidden Signatures	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Authorized TimeStamps	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
OSRecovery Signatures	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

注1：「使用する（制限付き）」に設定したときは、Windows UpdateによるBIOS更新機能は利用できません。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
AC通電再開時の動作 □電源OFF □電源ON □自動 ■使用しない	・設定変更は再起動後に有効 ・電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 ・自動…電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウンは「電源OFF」 ※注1
電源オフ時のUSB電源供給 ■電源OFF □電源ON	設定変更は再起動後に有効
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ※注4 ⇒【製品ガイド（共通編）】の「2章 BIOS」—「Wake on LANを有効にする」を参照
時刻による電源ON ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ※注5
時刻 HH:MM:SS	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻による電源ON」が「使用する」
日付 0～31	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻による電源ON」が「使用する」
キーボードによるウェイクアップ ■使用しない □使用する □専用キーのみ	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「電源オフ時のUSB電源供給」が「電源ON」
Alt+P ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「キーボードによるウェイクアップ」が「専用キーのみ」

注1：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。ただし、「電源ON」設定時に、本製品の電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本製品の電源が投入されることがあります。

注2：Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。

注3：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本製品の電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注4：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。

注5：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

起動メニュー

設定項目	備考
起動デバイス順位の初期化 ■いいえ □はい	
UEFI起動デバイス追加時の優先順位 ■最下位 □最上位 □標準	
起動デバイスの優先順位	OSを読み込むデバイスの優先順位を設定 ※注1 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「起動デバイスを変更する」を参照
Boot Optiovn #n #1: Windows Boot Manager ([HDDデバイス名]) #2: UEFI: IPv4 [LANデバイス名] #3: UEFI: IPv6 [LANデバイス名]	nは起動の順位を示す ・カスタムメイドオプションおよびお使用の状況により、起動順位および起動順位の数は異なる ・「UEFI: [CD/DVDドライブ名]」は、UEFI起動可能なディスクをセットしている場合に表示 ・UEFIアプリケーションが、優先順位を変更することがある

注1：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

終了メニュー

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・システム時刻 ・システム日付 ・言語 (Language) ・キーボードレイアウト ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・起動時のパスワード入力 ・所有者情報 ・セキュアブート機能 ・起動デバイスの優先順位 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「ご購入時の設定に戻す」を参照
変更前の値を読み込む	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	